



学校だより



2023年 2月 24日

横浜市立港南台第一小学校

3月号



Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>

「1年間のまとめ・・・残り1か月」

校長 瀧田 健二

この3年間はコロナ禍で様々な活動が制限され、思う存分教育活動を行うことができない状況でした。しかし、そのような中でも少しずつ日常を取り戻してきた感じがします。またいつ大きな波が来るかは分かりませんが、コロナの対策・対応が分かってきて、制限が緩和された部分もあります。コロナ禍での経験は、学校におけるICT推進・教育DXをはじめとする大きな変革のきっかけにもなりました。だんだんと日常を取り戻し以前のような活動に戻る部分、旧態依然とした慣習を打ち破りイノベーションを起こす部分の両輪で教育活動を進めていきたいと考えています。

【6年 キャリア教育 企業説明会】



さて、3月17日（金）に第49回卒業証書授与式が挙行されます。歌や呼びかけ、保護者参列等に関して以前のような状況が戻ってきました。6年間の小学校生活の集大成として、卒業証書を受け取り、自分自身の6年を振り返ることでしょう。そこには、感謝・思い出・成長・友だち・未来への夢など、たくさんの思いが詰まっています。子どもたちには態度と真剣な眼差しで、自分の思いをしっかりと伝えてほしいと思います。卒業式練習と卒業式当日には、自分自身の成長と自分がたくさんの人に支えられていることを実感し、家族をはじめ周りの人たちへ改めて感謝の思いをもってほしいと願っています。

令和4年度も残り一か月となりました。この一年間、保護者の皆様、見守り隊やボランティアの皆様、そして地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。子どもたちの成長と同様に、学校の教育活動もまた、たくさんの人に支えられて成り立っています。来年度も、学校・家庭・地域が3本の矢となり、子どもたちにとって「安全・安心・充実」の楽しい学校生活が送れるように、教職員一同全力で取り組んでいきたいと考えています。子どもたちが毎日「安心して笑顔」で通える学校が大前提です。地域の皆様、保護者の皆様には、一層のご理解とご支援をお願いいたします。

令和4年度 いのちの学習

本校では、自分の体や生命の誕生について学び、自他の体や心を大切に、豊かな人間関係はぐくむことを目的とした「いのちの学習」を行っています。児童一人ひとりがかけがえのない「いのち」について考え、そのかけがえのない大切さを学びました。今年度の活動を紹介します。

1年生 たいせつなからだ

1年生は、プライベートゾーンを守ろうという内容を学習しました。水着でかくれた部分は、「自分だけの大切な場所」であることを知り、自分の体を守るためのルールを確認しました。

プライベートゾーンがわかった。約束を守る！
(見ない・見せない 触らない・触らせない)

知らない人に体を見られたり、触られたりしたらすぐに逃げて、大人に伝える！



2年生 おなかの中の赤ちゃん

2年生では、いのちのはじまりから、赤ちゃんは、おなかの中でどのように成長するかについて学びます。自分が大切に育てられてきたことに気づき、自分やまわりの人の命を大切にしようとする気持ちをもつことをねらいとしています。

生まれる前から、大事に、大事に守られていたことを知って嬉しかった。



いのちはずっといつまでも「大事」なんだと思った。



3年生 感謝してバランスよく「いただきます」

3年生は、健康に成長するためにはバランスの良い食事が必要ということ学びます。また、普段の食事には、多くの人が関わっていることに気づき、感謝をしながら、自分の体を思って食事をする大切さに気づきました。

食材を育てる人、運ぶ人、作る人…たくさんの人のおかげでご飯が食べられていることを知った。

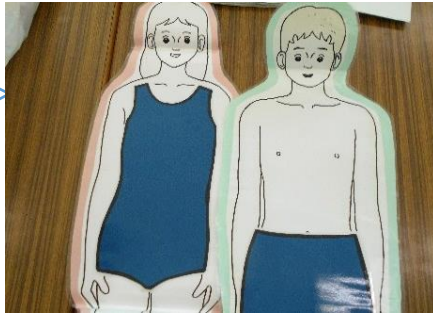


ごはんを食べるのは、最終的に自分の体のためになると気づきました。

4年生 育ちゆく体とわたし

4年生では、大人の体への変化について学びました。思春期には、体も心も大人に近づいて変化すること、それは誰もが通る道で、成長には個人差があることを学びました。

声が変わったり、大人への変化が始まったときは、授業を思い出したい。



自分の心や体を人と比べなくてもいいんだって安心した。

5年生 人の誕生

5年生では、理科の「人の誕生」の学習にあわせて、妊婦体験をしました。妊婦さんの生活の大変さや、お母さんやお父さんからの手紙を聞いて、自分も友達もかけがえのない存在だと気づきました。

みんな同じ命だから、自分も友達も大事にしたい。



想像よりも、おなかが重たかった。
この重さで生活してたお母さんってすごい。

6年生 いのちの授業 ～助産師さんからのメッセージ～

6年生では、今までの「いのちの学習」のまとめとして、助産師の石川先生による出前授業を行いました。今までの成長をふりかえるとともに、自分やまわりの人のいのちを大切にすることについてお話をいただきました。



自分の命は、家族や友達にとってもかけがえのないものだとなった。生んで、育ててくれた親に感謝したい。

～石川先生の言葉で、特に心に残ったこと～

奇跡から始まった、たった一つのいのちを大切にしてください。誰であろうと命の重さは同じであり、差別やいじめは許されません。苦しいことや困ったことがあったら必ず誰かに相談をして、SOSを出してください。何があっても生きていくことが大切です。